

SDGs市民社会ネットワーク

SDGs Civil Society Network



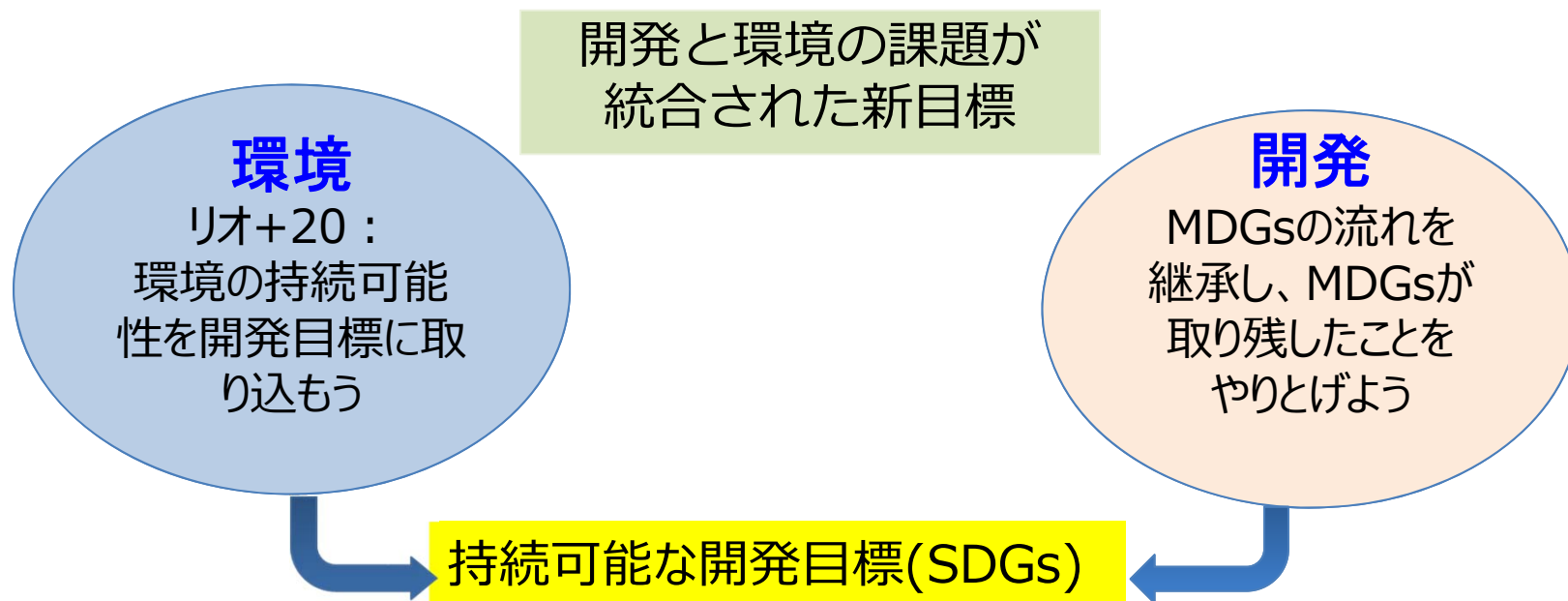
2016/9/9

一般社団法人 環境パートナーシップ会議

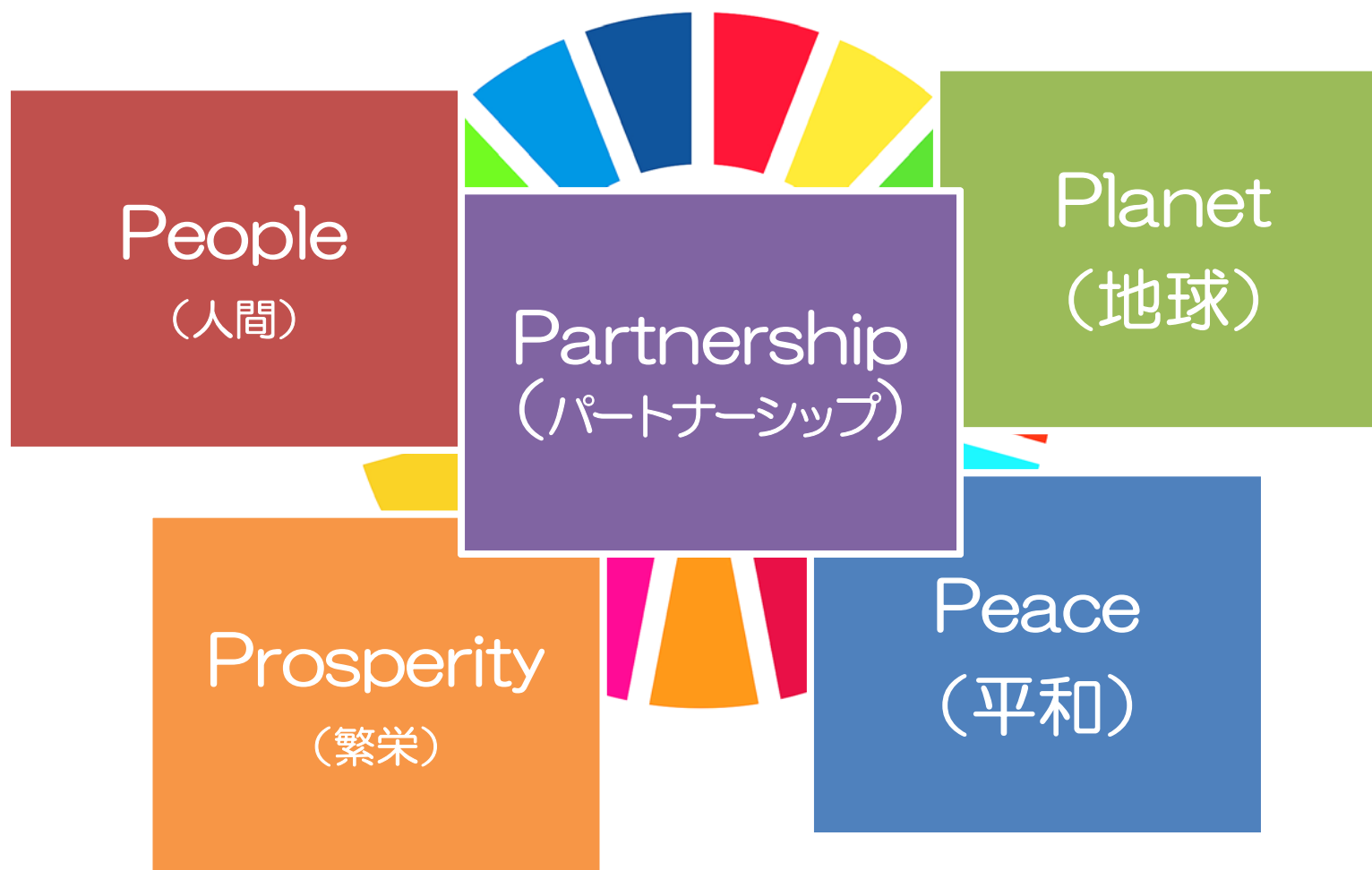
星野智子

我々の世界を**変革**する：持続可能な開発のための2030アジェンダ

- 2015年9月、国連にて全加盟国の賛同により採択
- アジェンダ2030は前文に加えて4つのセクションからなる
 - ①宣言、②持続可能な開発目標（SDGs）とターゲット、
 - ③実施手段とグローバル・パートナーシップ、④フォローアップとレビュー



SDGsに示された5つの要素 5つの“P”



OSDGsと環境問題

- 健全な地球環境なしには、社会も経済も成り立たない。（自然資本、生態系サービスの減少）
- 生物多様性の損失による経済的影響は年間2～4.5兆米ドル(ビジネスのための生態系と生物多様性の経済学:TEEBによる試算)
(国内の干潟が有する生態系サービスの価値は年間約6,103億円: H25年度環境白書)
- 17目標のほとんどが環境課題とつながっている。
(水、都市、インフラ、食料、消費と生産、健康etc.
例：地球温暖化→自然災害→環境難民→貧困、紛争、テロの増大→社会不和
→疾病の増大→保険・医療費の増大→経済的損失)



OSDGsと日本の各地で直面している主な課題

- 自治体消滅の危機
- 労働人口の減少、少子高齢化
- 社会保障の負担増加
- 一次産業衰退による里地里山の多様性低下
- 女性の地位
- 災害への対応、震災復興 etc.

世界各国（特に経済発展途上国）がこれから経験するであろう課題が山積。課題先進国である日本の解決策を世界は注視している。日本のあらゆる力で国内課題解決と、国際協力を。



SDGsは上記のような課題を横断的、総合的に俯瞰できるチェックシートとしても機能。地域課題を発見・解決するきっかけに…。




SDGs 市民社会ネットワーク

「SDGs 市民社会ネットワーク」は、2015年9月に国連総会で採択された、17の地球規模課題をまとめたSDGsの達成をめざして行動するNGO/NPOなど市民社会のネットワーク。

「誰も取り残さない」かたちで貧困や格差をなくし、持続可能な世界の実現をめざすというSDGsの理念に賛同し、その実現のために、

- (1) 幅広い市民社会のネットワークづくり
- (2) 政府・国会などとの対話を促進すること

を目的に、2016年4月に発足しました。SDGsが掲げる各課題について、日本のNGO・NPOの幅広い連携・協力を促進し、民間企業、地方自治体、労働組合、専門家・有識者などとの連携も進めていきます。





SDGs市民社会ネットワーク の取組み

◎政府「SDGs推進指針」策定に向けた働きかけ


政府は2016年5月、総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置、「SDGs推進指針」の策定に取り掛かりました。本ネットワークは、指針策定に向けて、日本の幅広いNGO/NPOの声を集め、政府に届けていく試みを行っています。

◎SDGs推進に向けた幅広い連携・協力の構築に向けた働きかけ

日本国内でSDGsの達成に向けた幅広い協力・連携体制を作るため、有識者・専門家、民間企業、労働組合、地方公共団体、協同組合など様々なセクターに働きかけ、推進ネットワークづくりに取り組んでいます。

◎SDGsについてより多くの人に知ってもらうための働きかけ

SDGsは日本国内でまだまだ知られていません。SDGsについて、より多くの人々に知ってもらい、サポートを広げるための取り組みを行っています。





SDGs市民社会ネットワーク の取組み

◎政府「SDGs推進指針」策定に向けた働きかけ


政府は2016年5月、総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置、「SDGs推進指針」の策定に取り掛かりました。本ネットワークは、指針策定に向けて、日本の幅広いNGO/NPOの声を集め、政府に届けていく試みを行っています。

◎SDGs推進に向けた幅広い連携・協力の構築に向けた働きかけ

日本国内でSDGsの達成に向けた幅広い協力・連携体制を作るため、有識者・専門家、民間企業、労働組合、地方公共団体、協同組合など様々なセクターに働きかけ、推進ネットワークづくりに取り組んでいます。

◎SDGsについてより多くの人に知ってもらうための働きかけ

SDGsは日本国内でまだまだ知られていません。SDGsについて、より多くの人々に知ってもらい、サポートを広げるための取り組みを行っています。



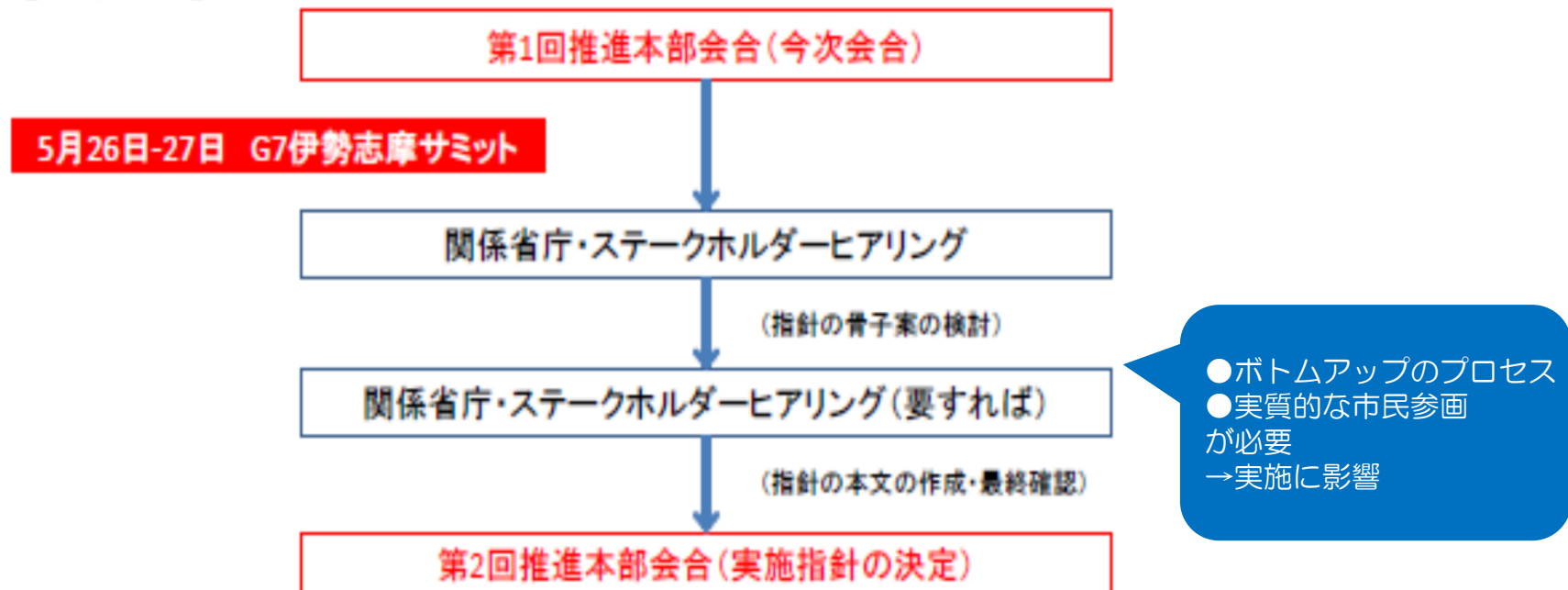
3. SDGsの実施のための我が国の指針の策定

日本は、SDGsの採択に至る過程で、人間の安全保障の理念の下で積極的に貢献。
我が国の重視する要素を盛り込んだ(質の高いインフラ、保健、女性、教育、防災等)。



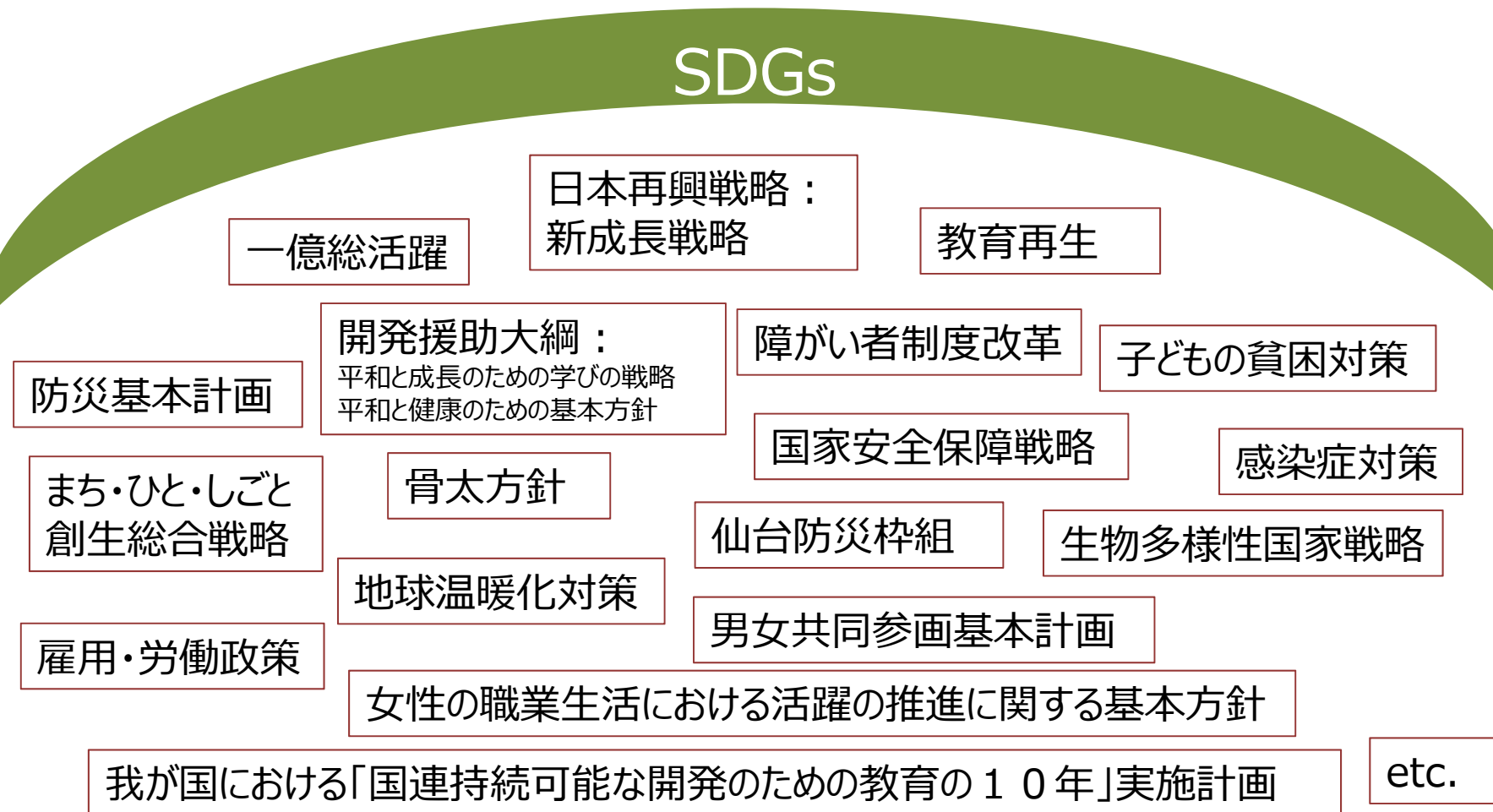
SDGsの実施に国内実施と国際協力の両面で率先して取り組んでいくべく、
我が国の内外の取組を省庁横断的に総括し、優先課題を特定した上で、
「SDGs実施指針」を策定していく。

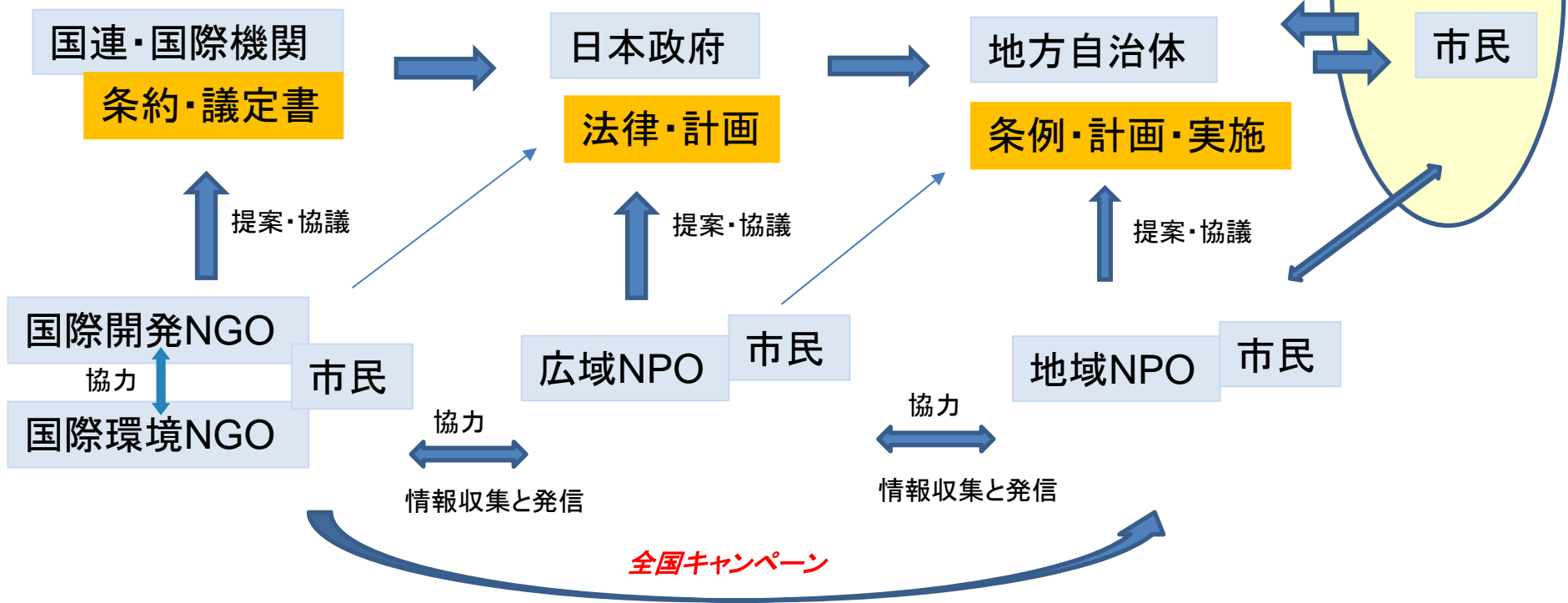
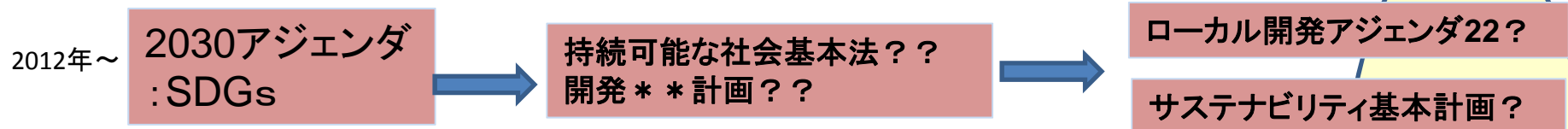
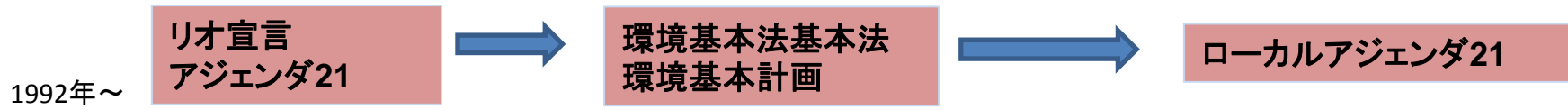
【作業計画】



⇒以降は、指針に従い各省庁で取組を推進。定期的の実施状況のフォローアップや指針の見直しを行う。4

SDGsはすべての政策・計画・戦略にかかわる ⇒国家実施計画が必要





ご清聴ありがとうございました。

星野智子 hoshino@epc.or.jp

EPCでは、SDGsメールマガジンを隔月で発行しています。

○サステナビリティCSOフォーラム

<http://sus-cso.com/>

※SDGs冊子をダウンロードできます。

